科目ナンバー	SEM-4-005-ky			科目名	目名 卒業研究(佐藤高)				
教員名	佐藤 高司					2020年度 前期~後期 単位数 4			
概要	課題演習I・IIにおける成果(先行研究・論文構成の検討等)をもとに、卒業研究を行い卒業論文を執筆しま け。								
到達目標		論理的研究、実証的研究にもとづいた卒業論文の完成を目指します。関係学会での発表または関係学会 もへの論文投稿に繋がるような内容の卒業論文となることを目指します。							
「共愛12のカ」との対応									
識見		自律する力		コミュニケーションカ		問題に対	問題に対応する力		
共生のための知識		自己を理解する力	0	伝え合う力		分析し、	思考する力	0	
共生のための態度	:	自己を抑制する力	0	協働する力		構想し、	実行する力	0	
グローカル・マイ ンド		主体性	0	関係を構築する	る力	実践的之	スキル		
教授法及び課題の フィードバック方 法	授業担当者 授業回では 必要に応じ 〈フィードハ	<教授法> 授業担当者は受講生に、随時、面接およびメールにて、綿密な個人指導を行います。 授業回では、各自、卒業論文の執筆にあたります。 必要に応じて研究の進展状況を報告する会(課題演習合同)を開き、討論します。 <フィードバック方法> 個別面談、メール、報告会において、適宜、指導を行います。							
アクティブラーニン	グ	サービスラ	ラーニング			課題解決型学修	(
受講条件 前提 科目	課題演習Ⅰ・	課題演習いが受講済みのこと。							
アセスメントポリ シー及び評価方法	卒業論文の また、卒業 総合的に評 卒業論文発 〈評価方法	〈アセスメントポリシー〉 卒業論文の内容について、「共生のための知識」「分析し思考する力」「構想し実行する力」として、 また、卒業論文への取組について、「自己を理解する力」、「自己を抑制する力」「主体性」として、 総合的に評価する。 卒業論文発表会での発表、要旨、発表資料について、「伝え合う力」として総合的に評価する。 〈評価方法〉 卒業論文の内容(80%)卒業論文発表会での発表(20%)							
 教材		研究内容により必要な場合は、受講生個に応じ、随時、授業担当者が指示します。							
参考図書	研究内容に	研究内容により必要な場合は、受講生個に応じ、随時、授業担当者が指示します。							
内容・スケジュー ル	4月年 年 年 年 5月 6月 7月 9月 10月 10月 11月 発 表 11月 発 表 数 2月 2月 2月 2月 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30 30	受講者は授業担当者と個別に定期的に連絡を取りつつ、研究および論文執筆を進めます。 4月 年度当初のガイダンス、骨組み 5月 章立て 6月 あらすじ、目次 7月 はじめに、第1章、第2章 9月 第3章 10月 第4章、第5章 11月 おわりに、参考文献 12月 要旨、発表資料 1月 発表練習、印刷、帳合 2月 卒業論文発表会 スケジュルの詳細は年度当初のガイダンスで発表します。							

Number			Graduation Thesis			
Name	佐藤 高司(Sato Takashi)	Year and S emester	Full-year for 202 0	Credits	4	
utline	Based on the results from "Junior Specialty Seminar I" and "Junior Specialty Seminar II" (prior res earch / thesis structure), studentswill perform graduation research and write their own graduation thesis.					